



1 学期が終わります

1学期の最終日となりました。始業式や終業式の校長の話では、

- ① あいさつをしよう。感謝の気持ちを伝えよう。
 - ② 目標を決めて挑戦しよう。
 - ③ 自分のことも、まわりの人も大切にしよう。
- と伝えています。

この1学期を振り返ってみると、児童生徒の皆さんが、新しい学部や学年で元気に過ごし、自分なりの方法で挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えたりする様子や目標に向けて少しずつ自分でできることを増やしている姿を見ることができ、とてもうれしく思います。そのことを終業式で皆さんに伝えました。

さて、明日から夏休みが始まります。今年の夏は「酷暑日」が続出、過去にないレベルの暑さになるという予想もあります。昨年以上の暑さになるのはとても心配ですが、規則正しい生活をして、体調管理に気をつけて、安全に過ごしてほしいと思います。

8月31日(月)の2学期始業式で会いましょう。



制作：みんなとつながる会

「ちっぴときらら」の皆さん

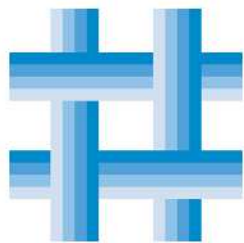
教職員の専門性を向上するために

夏休みは普段できないことに挑戦する貴重な時間でもあります。ぜひ目標を立て、取り組んでみてください。教職員も肢体不自由教育及び知的障害教育等の専門性を向上するために、校内外でさまざまな研修に取り組みます。授業中は行くことのできない、放課後等デイサービス事業所や卒業生の進路先などの見学なども設定されています。

2学期以降、この成果を生かして日々の教育活動の質を高めるとともに、児童生徒の皆さんが、安全で、安心して学校生活を送ることができるようしていきます。

県立津久井やまゆり園の事件を忘れずに

ー ともに生きる社会かながわ推進週間 令和8年7月20日～7月26日 ー



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

この7月26日で、県立知的障害者施設「津久井やまゆり園」(相模原市緑区)で19人が死亡し27人が負傷するという、大変痛ましい事件があったから10年の節目になります。このような事件が二度と起こらないよう、すべての人が大切にされ、一人ひとりの望みや願いが大事にされ、自分の気持ちや考えで必要なサポートを受けながら暮らせる社会、ともに生きる社会を作っていくことが大切です。そのことを終業式で、改めて児童生徒の皆さんにお話ししました。

茅ヶ崎支援学校では、これからも共生社会の実現に向け、その一翼を担っていくことができるよう、様々な地域におけるイベント等で茅ヶ崎支援学校や児童生徒のことを地域の皆さんに伝えながら、「ともに生きる社会」づくりに取り組んでいきます。

(校長)